

毎年、節分には京都のあちこちの寺社でも多くの行事が行われていました。今日はその話です。

八坂神社ではいつも甘酒あまじゆがふるまわれました。節分祭の両日、祇園ぎおんや先斗町ほんとうちようの舞妓さんたちが来て舞まいを奉納ほうのうするのもみものでした。

吉田神社の節分祭も有名でした。三日間あり、参道には屋台がたくさん並び、ものすごい人だったのですよ。

壬生寺みぶでらでは午後から壬生狂言みぶきやうげんといわれる伝統芸能を無料で見学することができました。演目の中に「炮烙ほうらく（素焼すやきの大きなお皿）割り」のはいるものもあり、おもしろかったです。その炮烙はみんなが厄除けのために数え年すみを墨すみで書いて奉納ほうのうしたもののなのですが、落としてばんばん割ることによって厄やくが落ちていくということなのでした。

下鴨神社の節分祭では平安時代の衣装を着た人が弓をひいて矢を放つ、古式ゆかしい行事「追儼弓神事ついなゆみしんじ」が行われていました。

平安神宮の節分祭の中の大儼だいなぎ之儀も平安時代のままの行事を再現したものでした。

松尾大社では拝殿はいでんで石見神楽いわみかぐらが奉納されていました。

日向大神宮では天の岩戸が境内にあるのですが、これを節分の日にくぐりぬける「ぬけまいり」と言うのも人気でした。ぬけたら厄が落ちるとされていました。

天龍寺では甘酒・樽酒たるさけの無料接待がありました。

他にもたくさんありましたが、今年はコロナのえいきょうで中止するところが多いです。どうしても人が多くなりますものね。今年は家でまめまきしておきましょう。

音読サイン↓

① 何の話でしょう？

② ぜんぶでいくつの寺社がとりあげられていますか？

③ 舞妓さんは節分祭の日、どこの神社で見られましたか？

④ 炮烙とはなんですか？

⑤ なぜ炮烙は割られるのですか？

⑥ 平安神宮で再現されていた行事はもともいつのものでしょうか？

⑦ ただで甘酒がいただけただけのはどこどこ？

⑧ にせの舞妓さんが多いわけを考えましょう。

⑨ 本物がいそがしく、かわりをたのむから

⑩ 舞妓さんの出番がふえたから

（ ） 貸衣装の店がふえて観光客が変身するから

（ ） あっているものに○をつけましょう。

（ ） ぬけまいりは松尾大社で行う。

（ ） 昔の人は厄をとてもしやがっていた。

（ ） 壬生寺では石見神楽が演じられる。

（ ） 上の話の感想を五行でまとめましょう。

できればは？

